

形もしゆるいも、いろいろなツボツクリ。ここのは小さい。あちのはトゲトゲ。リズにかじられて、エビコライのようなツボツクリもあります。公園でひろったものと、海岸でひろったものをくらべてみてくださいよ。

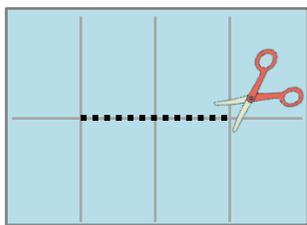
『ひろった・あつめたぼくのツボツクリ図鑑』
K478



盛口満／絵・文 岩崎書店

栄太の家に、AIロボットがやってきました。分身ロボットで、見た目は栄太にそっくりですが、中身は栄太よりゆるしゆうです。算数のテストの日、栄太はロボットを学校に行かせて一日じゆう家でだらだら。でも、ちよびりふあんになってきました。

K913 『AIロボット、ひと月貸します！』
木内南緒／作 丸山ゆき／絵
岩崎書店



紙を8つにおいて、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみだてれば、本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

としょかんのホームページもみてね！



2020年
11月号

1 2 3 年

E 『かしたつもり×もらったつもり』



かさいまり／さく
北村裕花／え
くもん出版

れんは、なかよしのだいちに、大切なきょうりゆう図かんをかしてあげました。ところが、だいちは、れんから図かんをもらったつもりです。

聞きまちがいからけんかしてしまった二人。なかなかおりにできるのでしょうか？

K913 『山のトントン』

やえがしなおこ／作
松成真理子／絵
講談社

山のふもとにすんでいるトントンは、元気なくまの子どもです。ある日、大すきなドーナツのとりあいで、おにいちゃんとけんかになりました。

お父さんにおこられて、おにいちゃんといっしょに、家をおいだされてしまいます。

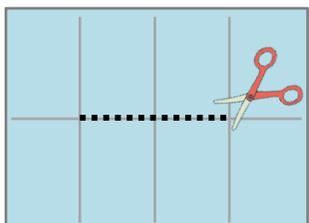
わたしたちの体重の10ぶん
の1は細菌です。細菌は、か
みの毛や鼻の穴、わきの下や
足の指の間にいます。もしも、
細菌がまったくいなくなつた
ら、動物も人間もたちまち病
気になつてしまいます。
この本では、人間の体をホ
チルにたどって、細菌たちの
はたらきをしようかしま
す。

E 『細菌ホチル』
キム・ソング、クオン・スジン／文
キム・リョソソ／絵 猪川なと／訳
岡田晴恵／日本語監修 金の星社



カッコよくて頭もいい児童
会長の彰吾には、ひみこが
あります。理科の特別講師と
して小学校にやって来た、
変人のキリン先生が、実は父
親なのです。
彰吾は、だれもない理科
準備室で、人体模型のわらい
声を聞きました。キリン先生
の科学的なアドバイスで、こ
のなぞを解き明かすことがで
きるのでしょうか。

K913 『科学でナゾとき！』
わらう人体模型事件』
あさだりん／作 佐藤おどり／絵
偕成社



紙を8つにおって、半分にひろげて
ね。てん線のところに、ハサミで、き
りこみをいれて、くみたてれば、本の
かたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

としょかんのホームページもみてね！

わ く わ く
本 だ な



2020年
11月号

4 5 6 年



K943

『ぼくのあいぼうはカモノハシ』

ミヒヤエル・エングラール／作

はたさわゆうこ／訳

杉原知子／絵 徳間書店

ルフスは、ドイツに暮らす男
の子。パパが仕事で、何カ月も
オーストラリアにいますので、さ
びしい思いをしています。

そんなある日、人間の言葉を
しゃべるカモノハシに出会い
ました。カモノハシは、「ふるさ
とのオーストラリアへ帰るの
を手伝ってほしい」と言いま
す。そこで、ふたりでオースト
ラリアに行く作戦をたてます。